

水の安全について

災害への備え



第 2 回 尼崎市公営企業審議会 部会
平成31年2月7日

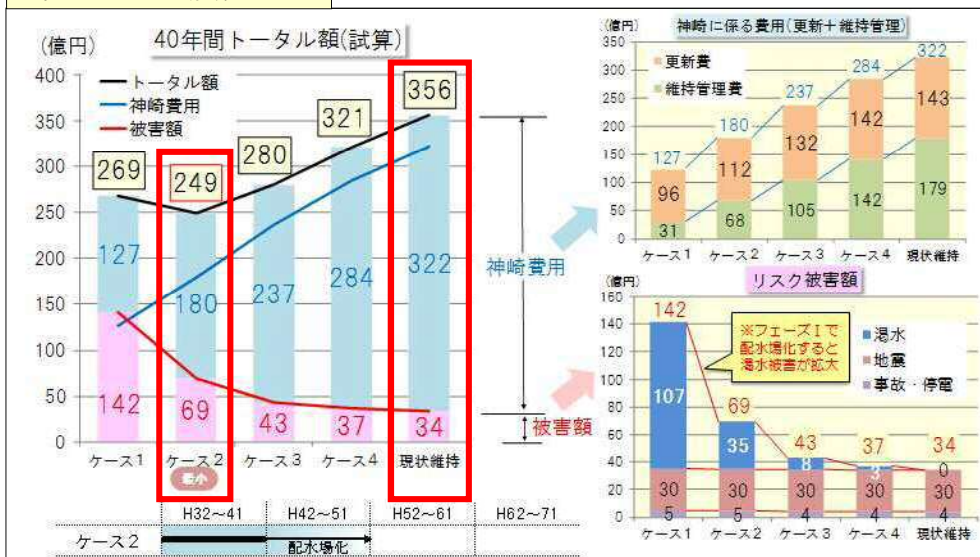
災害への備え

内 容

1. 取組み方針
2. 災害リスクの把握、評価
3. 災害対策の強化 (防災対策)
4. 災害対策の強化 (減災対策)
5. 連携の強化

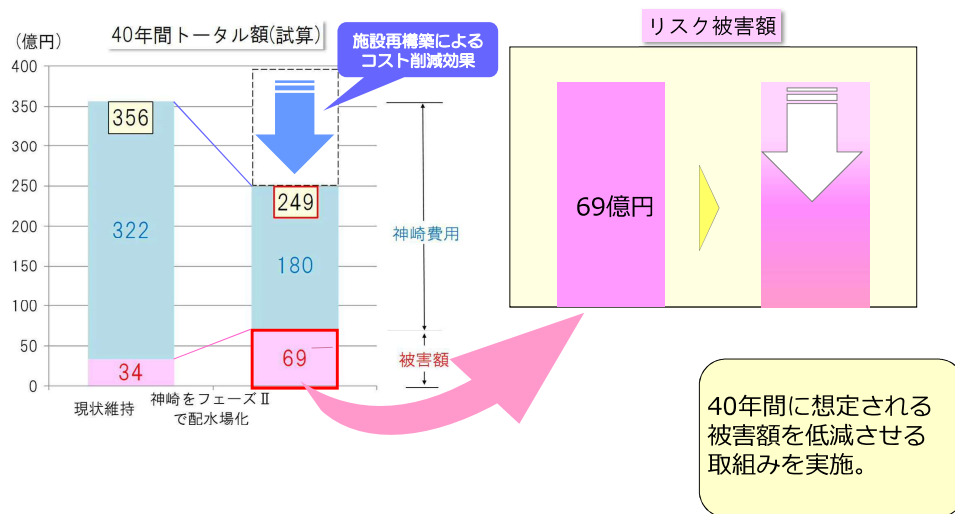
◆被害額の低減に向けて

第1回専門部会資料 P13



◆被害額の低減に向けて

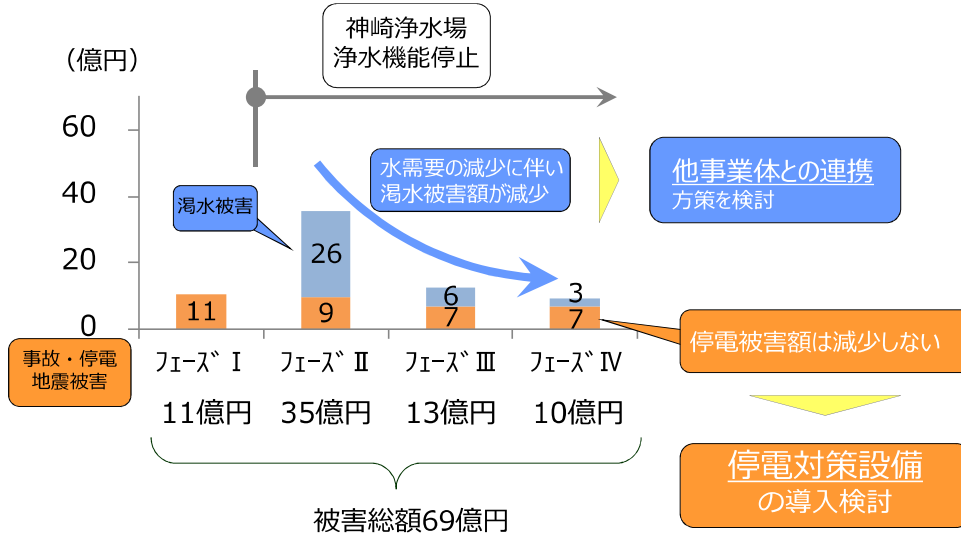
【被害額の低減に向けた取組み】



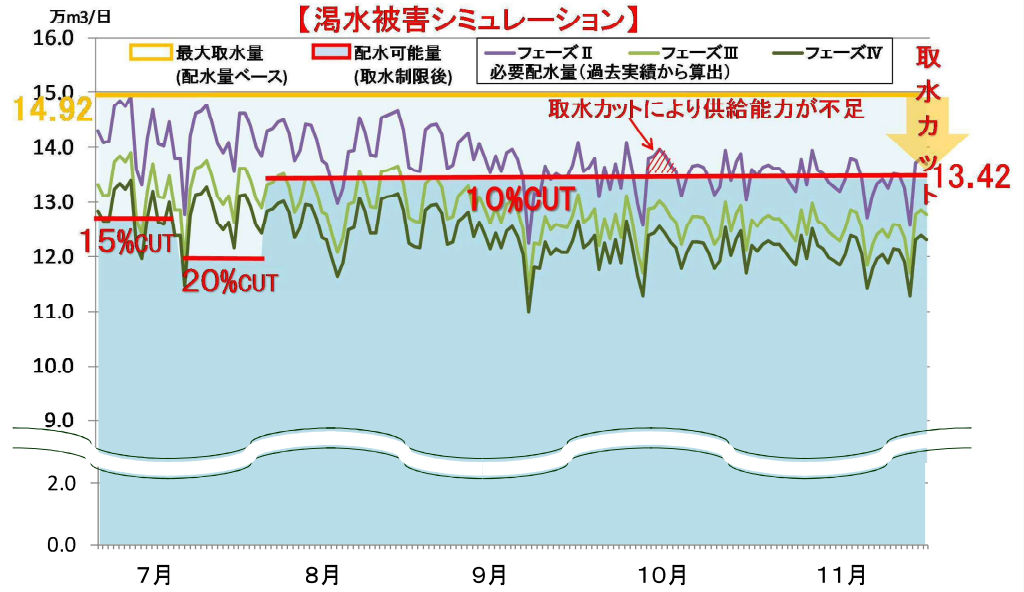
40年間に想定される被害額を低減させる取組みを実施。

◆被害額の低減に向けて

【ケース2におけるリスク被害額（69億円）の内訳】



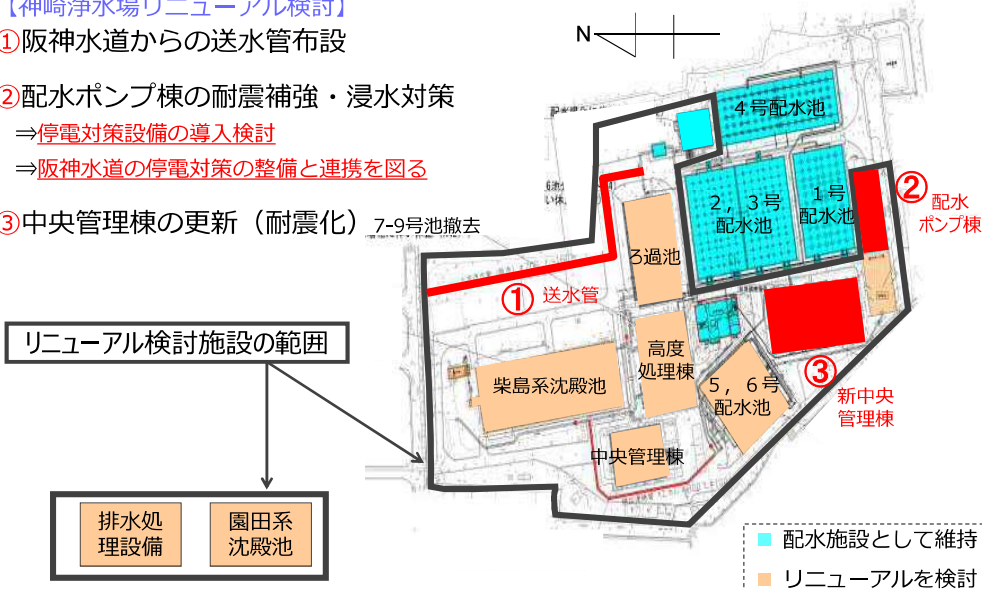
◆リスク被害額について ~渇水被害について~



◆神崎浄水場の災害対策

【神崎浄水場リニューアル検討】

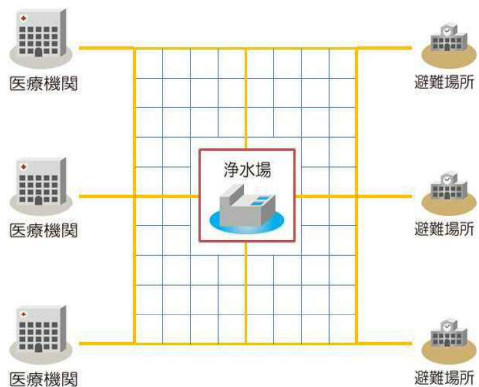
- 阪神水道からの送水管布設
- 配水ポンプ棟の耐震補強・浸水対策
⇒ 停電対策設備の導入検討
⇒ 阪神水道の停電対策の整備と連携を図る
- 中央管理棟の更新（耐震化） 7-9号池撤去



◆災害対策の強化（防災対策）~配水管の対応~

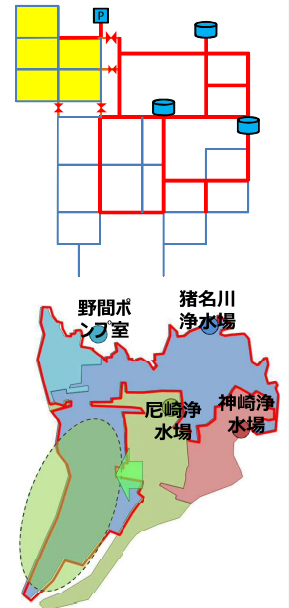
【耐震化（基幹管路、重要給水管路）】

次期ビジョンで医療機関へ至る配水管で耐震化が必要な路線の耐震化を完了。



【配水管網の再構築】

・北西部地域の配水ブロック化により災害時の水圧を確保。



・配水バランスの変更により猪名川浄水場の機能集中を分散。